

光原百合の世界

The World of Yuri Mitsuahara

2025

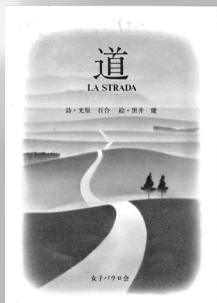
10.24 金

>>> 12.27 土



撮影：青井典子

広島県尾道市出身の光原百合は、1998年に『時計を忘れて森へ行こう』で小説家デビュー、2002年には「十八の夏」で第55回推理作家協会賞（短編部門）を受賞、2011年には『扉守 潮ノ道の旅人』が第1回広島本大賞を受賞しました。郷里の尾道市立大学で教鞭をとりながら、ミステリー、詩集、絵本、童話と幅広い文学活動を展開しましたが、2022年8月、58歳で病により亡くなりました。作者のやさしいまなざしを感じることができる光原百合の作品世界を紹介します。



『道 LA STRADA』
女子パウロ会
1989年8月
絵・黒井健



『やさしいひつじかい』
女子パウロ会
1992年10月
絵・佐々木洋子



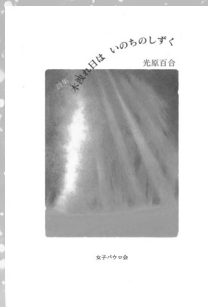
『空にかざった おくりもの』
女子パウロ会
1998年5月
絵・牧野鈴子



『ほしのおくりもの』
女子パウロ会
1999年10月
絵・牧野鈴子



『星月夜の夢がたり』
文藝春秋
2004年5月
絵・鯉江光二



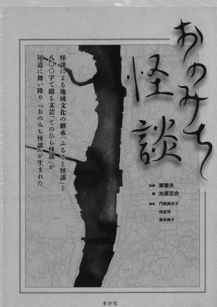
『詩集 木洩れ日は いのちのしずく』
女子パウロ会
2008年11月
装画・松永禎郎



『虹のまじの想い出』
PHP研究所
2011年5月
絵・鯉江光二 演奏・小原孝



光原百合、田村禎英監修『尾道草紙』
尾道大学 創作民話の会
2006年2月



光原百合編 東雅夫監修
『おのみち怪談』
本分社 2018年3月
表紙 作画デザイン・イラスト 青井典子



『やさしい共犯、無欲な泥棒』
文藝春秋
2023年7月 文春文庫



草稿
『マノシリーズ第4巻 旅の終わりとはじまり』
(絶筆・未完)
USBに保存されていた原稿



ふくやま文学館

〒720-0061 広島県福山市丸之内一丁目9番9号
TEL (084) 932-7010 / FAX (084) 932-7020
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/bungakukan/>

